

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス はぐっと 森友		
○保護者評価実施期間	令和8年年1月 30日		～ 令和8年年2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年年1月 30日		～ 令和8年年2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年年3月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児や重症心身障害児の受け入れ体制を整え、看護師と支援員が連携しながら安心して過ごせる支援環境を整えている。	看護師と支援員が日々情報共有を行い、子どもの体調や状態に合わせた安全な支援を行っている。	医療的ケアに関する研修や事例共有を行い、職員全体の知識や対応力の向上を図る。
2	日常生活の中で子どもの「できること」を大切に、生活動作や活動を通して成長を支える支援を行っている。	入浴時の立位練習や乗車練習など、日常生活の中に身体を使う活動を取り入れている。	活動の振り返りを行い、子どもの状態や発達に合わせた支援内容の充実を図る。
3	保護者との信頼関係を大切に、送迎時や連絡を通して日々の様子を丁寧に共有している。	送迎時の情報共有や連絡ツールを活用し、家庭と連携した支援を行っている。	学校や相談支援専門員、医療機関との連携を強化し、地域で支える体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケア児や重症心身障害児への支援において、職員の経験や知識に差があることが課題である。	新規職員が多く、医療ケアや重度障害児支援の経験が十分でない職員もいるため、支援内容の理解や対応力に個人差が生じやすい。	看護師を中心とした医療ケア研修や事例共有を行い、職員間の情報共有を進めながら支援スキルの向上を図る。
2	支援内容の記録や情報共有の方法が職員によって異なることがある。	日々の支援業務が多く、活動の振り返りや記録の統一が十分に行われていないことが要因となっている。	記録方法の統一やミーティングでの振り返りを行い、支援内容の共有と質の向上につなげていく。
3	地域や関係機関に対する事業所の認知がまだ十分ではない。	開設からの期間が浅く、学校や相談支援専門員などへの情報発信が十分に行えていないため。	学校や相談支援専門員への訪問、情報発信を行い、地域との連携強化と利用者確保につなげていく。